

日本キリスト者医科連盟(JCMA)

京都・滋賀部会のご案内

† 主の平和

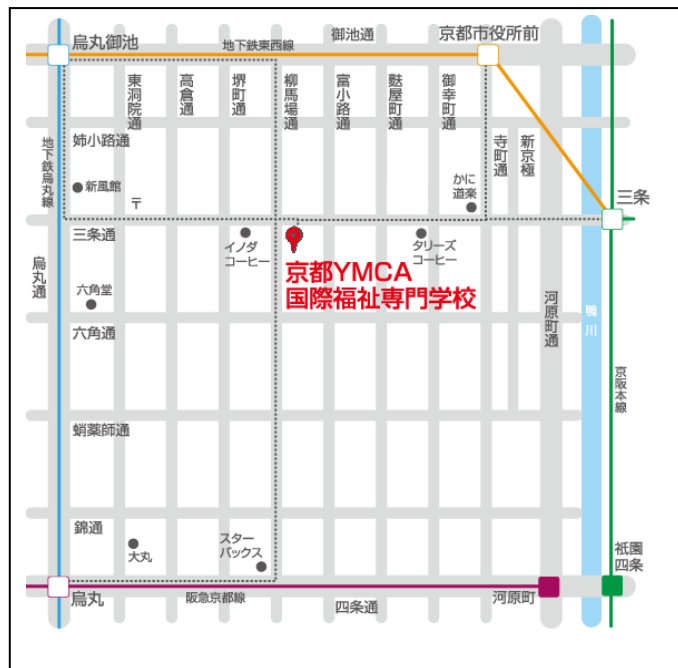
空気が澄んで、木々が色づく頃になりました。新型コロナウイルス感染者は、世界で 4000 万人を超え、一旦は収まっていた欧州で再び増加しはじめ、これから冬を迎える日本での増加も心配されます。皆さまは、お変わりなくお過ごしでしょうか。

11月と12月の例会案内をいたします。11月は、10月から引き続いて、皮膚科医として長年ハンセン病に携わってこられた尾崎元昭さんから感染症について学びます。10月は感染症の歴史でしたが、11月は感染症の受容というテーマです。文明の発祥以来、次々と新しい感染症が起り、多くの人を苦しめ、命を奪ってきました。新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、偏見や差別の問題も起り、感染した人々やその周囲の人々を苦しめています。感染症の『受容』を、わたしたちひとり一人が自分のこととして考える時になれば、と思います。

12月は、『JCMA の思想の源流を辿って』というテーマです。西脇さんは、昭和10年頃に名古屋大学医学部で起こっていた SCM (Student Christian Movement) について調べられています。SCM は、特に困っている人たち、弱い人たち、労働者のために多くの活動をしていましたが、当時の政府には政府への反抗とみなされました。関わった人は、弾圧や投獄、戦争の最前線に送られて、戦死した人もあったようです。JCMA の直接の源流ではありませんが、JCMA が結成されるよりも前に、当時の医学生の中にあつた貴い志とはたらきを学びたいと思います。

部会の参加費は、無料(カンパ歓迎)です。関心のある方はどなたでも自由にお越しください。

11月	日時	2020年11月28日(土) 15:00~17:15
	会場	京都YMCA (当日、YMCAの入り口ボードに室番号が掲示されます) 京都市中京区柳馬場東入中之町2
	テーマ	『感染症と人類 2)感染症の受容』
	講師	尾崎 元昭さん(JCMA 京都・滋賀部会、医師)
12月	日時	2020年12月19日(土) 15:00~17:15
	会場	京都YMCA (当日、YMCAの入り口ボードに室番号が掲示されます) 京都市中京区柳馬場東入中之町2
	テーマ	『JCMA の思想の源流を辿って』
	講師	西脇 洸一さん(JCMA 京都・滋賀部会、医師)



*連絡・お問い合わせ

JCMA京都・滋賀部会長:山本一成、(070-5657-3103)、世話人:西脇携帯090-5240-4836

書記:荒巻富美 FAX(075-711-7203)、f. aramaki@nifty. com